

しまだいい便り

大学の旬な情報をお届け

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

1 YouTubeチャンネルでライブ配信 令和3年度島根大学入学式を挙



令和3年度島根大学入学式を4月2日(金)松江キャンパス本部棟5階大会議室で開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、各学部・研究科入学生から選出された代表者1名ずつの計10名が参加し、式典の様子を本学公式YouTubeチャンネルでライブ配信しました。

式では、服部学長から、「学部や研究科における専門領域の学びに加えて、本学が展開する学部横断型の多彩な教育プログラム等も積極的に活用し、自身の知的好奇心を育てながら深く幅広い学びをしていただきたい」と式辞があり、入学生代表からは、これからの大学生活への希望と誓いが述べられました。

今年度は、教室における対面型の授業を主体しながら、オンライン授業も併用します。バーチャルとフィジカルな空間における双方の長所、機能が最大化される体制を構築し、より質の高い教育を提供していきます。

4 COVID-19等感染者搬送時の感染を防ぐ 飛沫感染防止資機材を開発



本学と(株)METS(出雲市)との共同研究により「COVID-19等感染者搬送時の飛沫感染防止資機材」を開発しました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療機関においてはガイドラインに沿った飛沫感染防止策が行われていますが、救急車内という密閉空間で活動する救急隊員ないし、救急救命処置を行う救急救命士のための感染防止資機材は数少ないのが現状です。

開発した資機材はどのような形状のストレッチャー等にも簡単に装着でき、活動内容に応じて形状可変し使用することが可能です。シンプルで構造・構成部材ですが、耐久性・機能性に優れ、現場活動を行う隊員1名でも容易に取付・設置することができ、また、本資機材は、震災時における避難所での疑似症隔離や応急的な診察・治療空間を確保することが可能です。屋外活動時には風雨からの傷病者保護やフィルムを変えることでプライバシー保護も可能です。介護施設においては有症状者の隔離目的としても使用できます。このように、救急車内での使用に限らず、医療機関、介護施設、老人ホーム等でも活用が見込まれています。

2 早い段階から海外へ目を向けるきっかけに しまだいい留学WEEKを開催



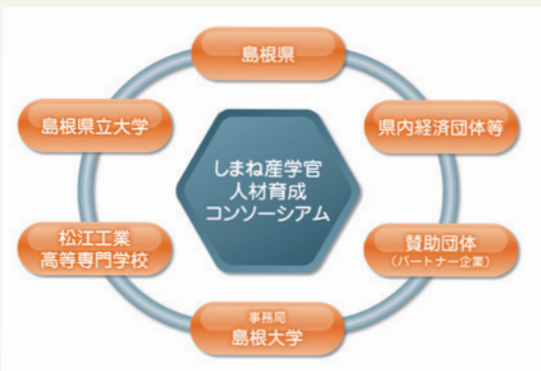
5月17日(月)から21日(金)の5日間、「しまだいい留学WEEK」を開催しました。期間中は、留学制度を説明するセミナーや、留学経験者による報告会、留学生を交えたオンライン交流会などが実施されました。1年生を中心に370人以上の参加があり、学生からは「留学のことをサポートしてくれるプログラムがあることが分かった」「コロナ後の留学計画に生かしたい」などの声が聞かれました。

3 オープンソースを活用したビジネスプランコンテスト 総合理工学部の学生が2件受賞



2月20日(土)、オープンソースを活用した新しいビジネスプランを事業化・起業化へ繋げることを目的とした「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2021」の学生部門において、総合理工学部知能情報デザイン学科の学生が提案した2件が受賞しました。これらのビジネスプランは、学科の専門科目であるシステム創成プロジェクトにおいて、顧客インタビューによるニーズの分析やビジネスモデルの設計・検証を行い、応募プランにまとめたものです。

5 高等教育機関による地方創生を推進 COC+事業の事後評価で「S評価」を獲得



平成27年度〜令和元年度まで実施してきた文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の事後評価で「S評価」を獲得しました。今回の評価は5年間実施してきた事業の総括となるもので、12大学(28.6%)がS評価となっています。COC+事業は終了しましたが、引き続き、「しまね産学官人材育成コンソーシアム」を中心に地域を支え、地域で活躍する若者の育成と県内定着を推進していきます。

6 実験・観察・研究の最前線に触れる 大田高校の生徒が研究室を訪問



3月16日(火)、島根県立大田高校の理数科1年生24名が生物資源科学部の12研究室を訪問しました。当日は、松江キャンパス内の案内を受けて、各学科紹介動画を見ました。その後、各研究室に分かれて約2時間の研修を受けました。研修時間が終了した後も高校生が熱心に大学教員に質問している姿がとても印象的でした。今後、他の高校も含めて、高校生が学部研究室に訪問してくれることを期待します。

医学部の地域への医療貢献が期待されますので、取り組みをPRしてください。
(島根県松江市・80代男性)

毎号、社会で活躍する卒業生を楽しみにしていますが、現役大学生の頑張っている姿もみてみたいです。
(島根県出雲市・50代女性)

新ビジョンの策定、幅広い分野への取り組みが感じられ、地元の大学として素晴らしさを感じています。
(島根県浜田市・70代女性)

高齢者には難しい言葉は理解できないところがあり、なるべく分かりやすく書いて欲しい。
(島根県松江市・70代女性)

読者の声
Voice
広報しまだいい vol.48に寄せられた声をお届けします。

松江
キャンパス

ソフトテニス部



男子は中国大会優勝、女子は1部昇格 目標に向かってチーム一丸となる

ソフトテニス部の特徴は、「やる時はやる」というメリハリを大切にしているところです。部活が始まると全員が顔色を変えて全力で取り組みますが、終わるとみんな家族のように和気あいあいと雑談をしたりします。4月末に行われた春季リーグでは、男子・女子共に満足のいく成績を残すことができず悔しい思いをしました。この悔しさを次回の秋季リーグにぶつけるために、部員全員で毎日の部活に全力で取り組んでいます。

出雲
キャンパス

医学部ダンス部 flouriness



ダンスを通して 学生や地域と交流を深める

くえびこ祭での舞台発表のみならず、他大学との合同ワークショップや地域イベントへの参加など、学外活動も盛んです。コロナ禍の現在はダンス動画を撮影してSNSにあげています。ダンス初心者も多く、大学からでも気軽にダンスを始められる雰囲気が魅力です。ジャズダンスからHIPHOPまで、様々なジャンルに挑戦しています。一回でも多く観客の皆さんを笑顔にできるステージを開催するのが目標です。

Shimadai's Circle

しまだい CLUB & CIRCLE INFORMATION

部活動 サークル

各キャンパスでそれぞれの特色を生かして活動する島大生。運動系や文化系はもちろん、大学を飛び出して活動する団体もあり、活躍の幅は様々です。そんな各団体について、実際の活動内容を交えて紹介します。

松江
キャンパス

麻雀研究会



楽しく麻雀を！ 目指せ全国優勝！

「飲まない・吸わない・賭けない」の健康麻雀をモットーに日々楽しく活動しています。今年度は、既に10名以上の新入部員を迎え、30名を超える規模のサークルとなりました。麻雀初心者から大会で入賞するほどの部員まで所属しています。麻雀を楽しむことを忘れず、公式大会での優勝はもちろん、麻雀ゲームアプリを活用した他大学との交流や麻雀を用いた地域貢献など新たな試みを積極的に行っていきたいと考えています。



生物資源科学部の松本敏一教授は松江市の温泉水を利用した加温で、山陰地方で熱帯果樹を経済栽培する技術を確立するための研究を行っています。本庄総合農場でバナナ、マンゴー、パイナップルなど7種類の果樹を研究栽培しているほか、熱帯果樹葉茶についても研究しています。豊かな温泉資源の活用につながる本研究に松江市からも期待が高まっています。

TOPICS

8 山陰地方での熱帯果樹栽培研究

生物資源科学部・松本敏一教授が確立を目指す

写真は、宮崎准教授らによる別の高齢者調査の様相です。



人間科学部の宮崎准教授は岡山県立大学などと共同研究を行い、1日約30分間程度の軽い有酸素運動が高齢者の睡眠の質改善に有用であることを明らかにし、その論文が欧州の老年医学雑誌「Archives of Gerontology and Geriatrics」に掲載されました。現在宮崎准教授らは、「じげおこしプロジェクト」で県内自治体などと協力し、本研究の成果を県内に還元すべく取り組んでいます。

TOPICS

7 人間科学部・宮崎准教授の睡眠に関する論文 1日約30分間の有酸素運動で睡眠改善



コロナ禍で外出などが制限される中、隠岐の島町民の健康維持・運動習慣の定着のために、人間科学部の学生2名(※)が体操動画を制作しました。「隠岐体操(まめな編)」は町民が「まめに(元気に)長生き」することを目指したストレッチと筋肉づくり運動を含めた体操です。

TOPICS

10 コロナ禍における健康維持・運動習慣を 人間科学部の学生が体操動画を制作

詳細はYouTube「島根大学チャンネル」
(<https://www.youtube.com/watch?v=jb5tasw6gVo&t=15s>)からご覧ください。
※モデル・勝部さん、動画編集・鍛冶さん



大学院・教育学研究科の松本一郎教授が、BSS山陰放送の「etime」(4月30日放送)にテレビ出演しました。番組では「SDGsの目標 超はわかり講座」と題し、17個あるSDGsの目標(ゴール)を、人の生活に関わるゴール、社会や経済に関わるゴール、自然環境の保護と人の行動に関わるゴールの3つに分け、分かりやすく理解する方法を紹介。一人一人ができることから行動に移していく重要性を伝えました。

詳細はYouTube「BSS山陰放送ラッテチャンネル」
(<https://youtu.be/7v2IFYOkbSs>)からご覧ください。



TOPICS

9 教育学研究科・松本一郎教授がテレビ出演 SDGsを分かりやすく解説

読者の声 Voice

広報しまだい
vol.48に
寄せられた声
をお届けします。

いろいろな研究、感動しました。
病気の苦しみ、悲しみが
軽減されると思います。
(島根県江津市・70代女性)

5~6年前の広報誌と比べて、
とても読みやすくなりました。
引き続き魅力ある情報を期待しています。
(島根県隠岐郡・80代男性)